
4 5 4 4. 積荷目録事前報告訂正

業務コード	業務名
CAM	積荷目録事前報告訂正呼出し
CAM01	積荷目録事前報告訂正

1. 業務概要

「積荷目録事前報告（ADMO1）」業務または「積荷目録事前報告訂正（CAMO1）」（以下、ADMO1業務等という。）により登録された積荷目録事前報告情報の訂正及び削除を行う。

また、税関に対して到着便単位に積荷目録の事前報告の追加を行う。

(1) 「積荷目録事前報告訂正呼出し（CAM）」業務の場合

ADMO1業務等により登録された積荷目録事前報告情報を呼び出す。

(2) 「積荷目録事前報告訂正（CAMO1）」業務の場合

(A) 追加（処理識別：スペース）

積荷目録の事前報告の追加を行う。

(B) 訂正（処理識別：C）

ADMO1業務等により登録された積荷目録事前報告情報に対し、訂正を行う。

(C) 削除（処理識別：D）

ADMO1業務等により登録された積荷目録事前報告情報に対し、削除を行う。

2. 入力者

航空会社

3. 制限事項

(1) CAM業務の場合

1業務で入力可能なAWB番号の件数は、最大10件とする。

(2) CAMO1業務の場合

① 1業務で入力可能なAWB番号の件数は、最大10件とする。

② 1到着便で登録可能なAWB番号の件数は、最大500件とする。

③ スプリットの登録は、最大30便とする。

④ 1AWB番号に対して登録可能な到着空港数は、最大5空港とする。

4. 入力条件

(1) CAM業務の場合

(A) 入力者チェック

① システムに登録されている利用者であること。

② 入力された到着便名に対してADMO1業務等を行った報告者*1と同一であること。

(*1) ADMO1業務の実施時に航空通信回線を利用して登録された情報については、ADMO1業務にて入力した航空会社（便名先頭2桁）において、予め空港単位に登録された利用者とする。

(B) 入力項目チェック

(a) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(b) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(C) 航空事前便情報DBチェック

① 入力された到着便名に対する航空事前便情報が航空事前便情報DBに存在すること。

② 入力された到着便名に対して、ADMO1業務等が行われていること。

(D) 航空事前情報DBチェック

- ①入力されたAWB番号に対する積荷目録事前報告情報が航空事前情報DBに存在すること。
- ②入力されたAWB番号の積荷目録事前報告情報に登録されている到着便名と入力された到着便名が同一であること。

(2) CAMO 1業務の場合

(A) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②入力された到着便名に対してADM0 1業務等を行った報告者*1と同一であること。

(B) 入力項目チェック

(a) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(b) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

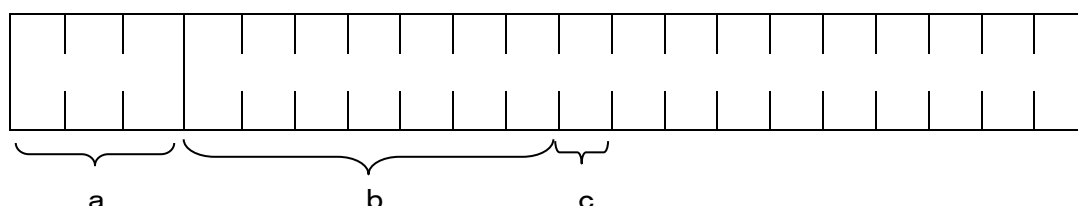
(C) AWB番号チェック処理

追加（処理識別：スペース）の場合、入力されたAWB番号が以下の条件を満たす場合は、チェックを行う。

- ①AWB番号が10桁または11桁で、かつ一連番号部（4～9または10桁目）が数字である。
- ②本業務によりチェックデジット・チェック不要の旨が入力されていない。

・チェックデジット・チェック方法

一連番号部を7で除し、その余りとチェックデジットの数値が等しいことをチェックする。



a : プリフィックス部（3桁）

b : 整数の一連番号部（6～7桁）

c : チェックデジット（1桁）

$$b \div 7 = \alpha \text{ 余り } \beta$$

$$\beta = c \text{ (}\beta \neq c \text{はエラー)}$$

図 チェックデジット有りのAWB番号構成

(D) 航空事前便情報DBチェック

訂正（処理識別：C）または削除（処理識別：D）の場合は、以下のチェックを行う。

- ①入力された到着便名に対する航空事前便情報が航空事前便情報DBに存在すること。
- ②入力された到着便名に対して、ADM0 1業務等が行われていること。

(E) 航空事前情報DBチェック

入力されたAWB番号に対して以下のチェックを行う。

(a) 追加（処理識別：スペース）の場合

入力されたAWB番号に対する積荷目録事前報告情報が航空事前情報DBに存在する場合は、登録されている到着便名と入力された到着便名が同一でないこと。

(b) 訂正（処理識別：C）または削除（処理識別：D）の場合

- ①入力されたAWB番号に対する積荷目録事前報告情報が航空事前情報DBに存在すること。
- ②入力されたAWB番号の積荷目録事前報告情報に登録されている到着便名と入力された到着便名が同一であること。

5. 処理内容

(1) CAM業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「0000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(B) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(C) 注意喚起メッセージ出力処理

CAM01業務を行うには再送信が必要な旨を注意喚起メッセージとして出力する。

(2) CAM01業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「0000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(B) 航空事前便情報DB処理

(a) 追加（処理識別：スペース）の場合は、以下の処理を行う。

- ①入力された到着便名に対する航空事前便情報が航空事前便情報DBに存在しない場合は、航空事前便情報を作成する。
- ②入力された到着便名に対する航空事前便情報が航空事前便情報DBに存在する場合は、入力されたAWB番号の件数を加算する。

(b) 削除（処理識別：D）の場合は、以下の処理を行う。

入力されたAWB番号の件数を減算する。

(C) 航空事前情報DB処理

(a) 追加（処理識別：スペース）の場合は、以下の処理を行う。

- ①入力されたAWB番号に対する積荷目録事前報告情報が航空事前情報DBに存在しない場合は、積荷目録事前報告情報を作成する。
- ②入力されたAWB番号に対する積荷目録事前報告情報が航空事前情報DBに存在する場合は、入力された到着便名に対する積荷目録事前報告情報を追加する。

(b) 訂正（処理識別：C）の場合は、以下の処理を行う。

入力されたAWB番号及び到着便名に対する積荷目録事前報告情報を更新する。

(c) 削除（処理識別：D）の場合は、以下の処理を行う。

入力されたAWB番号及び到着便名に対する積荷目録事前報告情報を削除する。

(D) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

(1) CAM業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
積荷目録事前報告訂正呼出し結果情報	なし	入力者

(2) CAMO1業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
積荷目録事前報告情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 追加を行うAWB番号が存在する (2) 入力された到着便名に対してADM01業務等が行われていない	入力者
積荷目録事前報告訂正情報	訂正を行うAWB番号が存在する場合	入力者
積荷目録事前報告取消情報	削除を行うAWB番号が存在する場合	入力者